

秋田県鹿角市 ぎかいだより

令和6年5月1日発行

3月定例会
2月臨時会

No. 120



令和6年度予算案などを可決 P 2

3会派の代表質問 P 4

一般質問には7名が登壇 P 6

各常任委員会の審査状況 P 9

編集後記 P 12

○表紙の写真[鹿角高等学校校舎]

3月定例会の一般質問等でも、令和6年度開校の「鹿角高校」についての質問がされています。

3月 定例会 継続審査としていた「鹿角観光ふるさと館の指定管理者の指定について」議案の撤回を承認、再提出された議案については原案可決

3月定例会

主な議案等の審議内容

令和6年3月定例会を2月29日から3月22日までの23日間の日程で行い、市長より議案29件が上程され、いずれも原案のとおり可決し、議員提出議案1件について、原案のとおり可決しました。

本定例会に提案された議案等の審議結果や議会に提出された陳情の審査結果について、一覧を次ページ以降に掲載しています。

なお、本定例会において適任とされた人事案件は次のとおりです。

人事案件

人権擁護委員

木村 智子 氏（再任）
奈良 明子 氏（再任）
岩館 裕章 氏（再任）
安倍 良直 氏（再任）
戸嶋めぐみ 氏（新任）

議案の撤回（令和5年議案第86号指定管理者の指定について（鹿角観光ふるさと館））

質問 議案を撤回する理由は。

答弁 これまでの混乱について12月議会で陳謝しているが、代表取締役の解任を撤回したことから、早急に事態の収束を図る必要があると考えたものである。

指定管理者の指定について（鹿角観光ふるさと館）

質問 代表取締役の解任の撤回に至った経緯について説明も十分で、市長も納得していないように見えるが、どのように考えているのか。

答弁 今後、公社の改革を一緒に実施していく意思表明を確認できたことから、協力し進めていく。

鹿角市上水道事業会計における建設改良積立金の目的外使用について

質問 今後も積立金を企業債償還金の資金などに目的外使用することとなるか。

答弁 中長期的なシミュレーションでは、今後とも財源不足が生じると見込まれ、それらを積立金のみで解消していくことは困難であるため、使用料の改正等を行いながら収益的収入を上げるように努めていく。

令和6年度鹿角市一般会計予算

〇民生費

質問 地域包括ケアシステム構築への対応状況は。

これまで以上に医療、介護、保健、福祉等の密接な連携が必要と考えており、令和6年度からは、全世代が属性を問わない相談支援体制の構築を目指す、重層的支援体制整備事業を実施する。

〇衛生費

質問 医師確保業務委託料はこれまでにどのような成果が表れているか。

答弁 医師の人材派遣事業は、令和4年度で紹介1件、令和5年度で紹介4件があったが、いずれも成約には至っていない。

〇農林水産業費

質問 種苗交換会の開催に合わせて、市内における消費拡大を図るための方策は。

答弁 開催には、広大な敷地が必要となるため、アルパス周辺を考えている。種苗交換会のみを目的として本市を訪れる方が多いことから、商工会とも連携し、会場周辺に物産コーナーなどを設け対応したい。

議会へ提出された陳情

令和6年3月定例会では、陳情5件を審査しました。審査結果については、4ページに掲載しています。

議会から関係機関への意見書

3月22日の本会議において、議員より提出された意見書1件について、原案可決し関係機関へ提出しています。

◆最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書

2月臨時会

令和6年2月臨時会を2月6日に行い、市長より議案1件が上程され、原案のとおり可決しました。案の審議結果や議会の審議結果は、次ページに掲載いたします。詳細は12ページをご覧ください。

令和6年3月定例会において審議した議案等の審議結果

◇市長提出議案	審査結果
専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)	報告
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(5件)	適任
指定管理者の指定について(鹿角観光ふるさと館)	撤回承認
指定管理者の指定について(鹿角観光ふるさと館)	原案可決
令和5年度鹿角市一般会計補正予算(第12号)	原案可決
令和5年度鹿角市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
鹿角市過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
鹿角市監査委員に関する条例の一部改正について	原案可決
昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の廃止について	原案可決
鹿角市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決
鹿角市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
鹿角市介護保険条例の一部改正について	原案可決
鹿角市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	原案可決
鹿角市甘露緑地休養施設設置条例の廃止について	原案可決
鹿角市水道事業の設置等に関する条例及び鹿角市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
鹿角市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決
生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の一部改正について	原案可決
鹿角市上水道事業会計における建設改良積立金の目的外使用について	原案可決
令和5年度鹿角市一般会計補正予算(第13号)	原案可決
令和5年度鹿角市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
令和5年度鹿角市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
令和5年度鹿角市上水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
令和5年度鹿角市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
令和6年度鹿角市一般会計予算	原案可決

◇市長提出議案	審査結果
令和6年度鹿角市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
令和6年度鹿角市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
令和6年度鹿角市介護保険事業特別会計予算	原案可決
令和6年度鹿角市上水道事業会計予算	原案可決
令和6年度鹿角市下水道事業会計予算	原案可決
令和5年度鹿角市一般会計補正予算(第14号)	原案可決
令和6年度鹿角市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
◇議員提出議案	審査結果
最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について	原案可決
◇陳情	審査結果
健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	不採択
年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	趣旨採択
「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情	不採択
公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情	不採択
「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	採択

令和6年2月臨時会において審議した議案等の審議結果

◇市長提出議案	審査結果
令和5年度鹿角市一般会計補正予算(第11号)	原案可決
◇請願	審査結果
かづの観光物産公社に対する鹿角市長の発言についての調査委員会開催に関する請願	趣旨採択

(会派)

鹿真会・公明 質問時間 60分
(田村 富男 議員)

質問した項目

- 市長の政治姿勢について
- 公約の推進について
- 財政運営について
- 庁舎への喫煙室の整備について
- まちなか居住について
- 十和田高校跡地の活用について
- 大湯ストーンサークル館への飲食・物販機能の追加について
- 毛馬内盆踊りの保存伝承施設について

問 たばこ税の財源を確保するため、庁舎周辺に喫煙環境を整備する考えはないか。

答 健康増進法では、行政機関等については屋外を含めて敷地内禁煙とされており、法律の趣旨と規定に基づき適切に対応する。たばこ税については貴重な財源であると考えているが、財源確保の面で大きな効果は考えにくく、庁舎周辺に喫煙室を整備することは考えていない。

問 毛馬内盆踊りの保存伝承施設(盆踊り会館)について

答 毛馬内盆踊りの保存伝承を目的とした施設は、市民センターの設置目的に合致しないため、その機能からは外れる。毛馬内盆踊りは、保存会の長年の活動が評価され、ユネスコ無形文化遺産の登録にも結びついたもので、今後にもこうした活動の強化につながるように、今年度から無形民俗文化財担い手育成事業を創設し、継続的に支援している。



問 市長は自身への辞職勧告決議を受けて、政治姿勢を改めた部分はあるか。

答 辞職勧告決議が可決された事実は厳粛に受け止め、二元代表制を尊重し、新たな決意と覚悟を持って鹿角市政の推進に全力を尽くしていく。



録画配信はこちらから

問 答

バスの運転手不足への今後の対応は。令和6年度、バスやタクシーの運転に必要な第二種運転免許資格取得費用に対し補助するほか、乗車率向上のための回数券購入補助の補助率拡充や特殊定期券の購入費の一部を助成する制度を導入する。



鹿角市の農林業の振興について

問

ツキノワグマの異常発生を踏まえ、新たにどのような対策を考えているのか。

答

今年度、住宅地で熊の出没が多発したことを踏まえ、熊の出没を誘引する栗や柿の木の伐採に対し、1本当たり5万円を支援する「緊急ツキノワグマ誘引樹木伐採事業費補助金」を令和6年度からの2か年で集中的に実施し、住宅地での安全・安心の確保に努める。

鹿角市の教育問題について

問

中学校部活動の地域移行について、新年度どのような形で進めていくのか。

答

引き続き検討委員会を開催し、国・県の計画を踏まえ、市の地域移行に係る計画を策定していく。また、新たに地域移行コーディネートター1名を配置し、学校や競技団体、関係者等との協議や調整を行い、地域移行につないでいく役割を担ってもらう。さらに、地域に合った意向を検証するため、実際の活動で生じる課題の把握・分析、指導者確保や支援団体の在り方、事務負担の軽減を検討する。

質問した項目

- 第7次総合計画について
- 本市の人口の現状について
- 公共施設のマネジメントについて
- 鹿角市の農林業の振興について
- 公共交通対策について
- 鹿角市の観光振興について
- 鹿角市の商工業振興について
- 鹿角キャンパス構想について
- ほか



録画配信はこちらから

(会派)

誠心会 質問時間 60分
(浅石 昌敏 議員)

(会派)

鹿山会 質問時間 60分
(黒澤 一夫 議員)

質問した項目

- 鹿角市総合計画の取り組み状況について
- 地震等自然災害に対応した機材、備品、食料等の備蓄について
- 「スキーと駅伝のまち鹿角」の運動の高まりについて
- (スポーツ文化の興隆について)



地震等の自然災害に対応した機材、備品、食料等の備蓄について

問

備品等の備蓄内容はどのようなになっているか。

答

被災者対応のため、秋田県地域防災計画に基づき、県と市町村が連携しながら、大規模地震による被害想定を基に、最低限備蓄すべき目標数を掲げ、計画的に備蓄を行っている。能登半島地震においては、道路網の寸断により孤立集落が多数発生するなど、輸送ル―

問 答

全国規模のスポーツ大会等における市内観光業者の歓迎体制はどのように整えているか。かづの観光物産公社等を通じ、宿泊場所を確保しているほか、食事も地場産品をできるだけ活用するなどおもてなしの心で交流人口の拡大につなげていく。



録画配信はこちらから

鹿角市総合計画の取り組み状況について

問

これまでの企業立地促進事業における企業誘致の成果は。

答

これまで、産業団地の整備、新規進出企業への優遇制度のほか、投下固定資産や地元雇用に対する支援などで、5年間で6社を誘致しており、積極的な企業誘致が実を結んだものと捉えている。

問 学校給食費無償化は、少子化対策を本気で進める自治体にとって必須政策ではないか。

答 学習環境の向上を優先的に実施し、国の財源活用が見込まれた段階で再度検討を行う。



災害対応について

問 能登半島地震の災害対応状況を見受

け、多くの不安を感じている。災害時において最大限で最良の対応をするために、現状の計画やルールを大きく見直し準備する必要があるのではないか。

答 能登半島地震での防災対応を教訓とし、大規模地震が発生した場合の被害想定を行った上で、国の防災計画の見直しのほか、県と連携で行う調査事業の検証結果に基づき、今後の地域防災計画の

見直しにつなげていく。

問 出産可能な医療施設が無くなり出生

数が加速的に減少している本市において、これ以上、負の要因を増やさないために、大湯保育園存続に向けた思い切った計画変更が必要と思うが市の考えは。

答 園児数の減少が避けられない状況を踏まえ、質の高いサービスを維持するため、

これまで、保育園の再編や閉園など適正な施設配置を進めてきた。現状において、他の公立保育施設等での受け入れが可能な状況を踏まえると新たに施設を設置する必要性は低いと考えている。

質問した項目

- 災害対応について
- 子育て環境について
- ふるさと納税について



録画配信はこちらから

栗山 尚記 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分

問 省エネ設備更新支援と2030ゼロ・カーボンシティ宣言の関係性は、事業所のエネルギー削減と設備投資を促すことで地域経済の活性化を図り、かつの電力への切替えも促進させ、目標を達成したい。

答 シティ宣言の関係性は、事業所のエネルギー削減と設備投資を促すことで地域経済の活性化を図り、かつの電力への切替えも促進させ、目標を達成したい。



少人数保育園新設について

問 大湯温泉郷は、インフラ次第では繁

栄しており、保育園は必要と考えるが、少人数保育の導入も含め、存続させる考えはないか。

答 公立保育施設については、これまで

も市全域の児童数の推移を考慮しながら、質の高い保育サービスを提供するための適正な施設配置の観点から、再編や閉園を行ってきた。新たな設置の予定はないが、ぎりぎりまで制度を検討して

いく。
下川原トゲウオ生息地について

問 市指定天然記念物のトゲウオ生息地

について、外来種などの繁殖が確認されており、本来の生態系が失われるおそれがあるが、市の対応は。

答 これまでも湧水地

周辺での草刈りや排水溝の泥上げなどを行い環境保全に努めてきたが、外来種のラドジョウの増加も確認している。今後は、効果的な環境整備となるよう関係団体や有識者と協議することに加え、外来種の捕獲と駆除についても対策を検討し、天然記念物の維持に取り組んでいく。

質問した項目

- 市長の市政運営について
- 地球温暖化対策実行計画について
- 再生可能エネルギーについて
- 省エネ設備更新支援について
- かづのパワーについて
- 森林環境譲与税を活用した森林整備について
- 世紀越えトンネル建設促進について
- ほか

宮野 和秀 議員（誠心会）

質問時間 60分



録画配信はこちらから

問 大湯環状列石敷地内に売店や飲食スペースを望む声が多いが、設置する予定はないか。

答 必要性は十分認識しているが、採算性など様々な課題もあり、来年度策定予定の基本計画の中で慎重に検討を重ね進めていく。



スポーツによるまちづくりについて

問 令和6年度開催の国民スポーツ大会に向けた設備改修等の計画は。

答 市では、圧雪車格納庫の改修工事及びクロスカントリー用圧雪車の購入を、また、県ではジャンプ競技システムの更新を予定している。

部活動の地域移行について

問 部活動の地域移行には多くの課題があると思うが、現状と今後の取り組みは。

答 鹿角市部活動地域移行検討委員会を3回にわたり開催し、指導者不足、休日活動における学校との連携や保護者負担等の課題が挙げられ、整理しながら進めている。

今後は、地域移行コーディネーターを配置し、地域移行に必要な体制や支援の在り方を検討していく。

除雪委託業者への保証について

問 除雪業務委託の保証内容は。

答 最低限の稼働日数の基準を14日分として保証している。

機械稼働が一切ない場合の保証費は平均で機械1台当たり160万円と積算している。

質問した項目

■スポーツによるまちづくりについて ■大湯環状列石の方向性や基本方針について ■部活動の地域移行について ■除雪委託業者への保証について ■市長の第7次総合計画に対する自己評価と来年度の目標について



録画配信はこちらから

湯瀬 誠喜 議員（鹿山会）

質問時間 45分

問 暖冬による市内産業と地域賃金への影響は。

答 暖冬を起因とした業績悪化に伴う解雇や雇用調整等の情報はない。スキー場関連では、八幡平スキー場以外は、2月後半に今年度の営業を終了するなど、影響を受けていると考えられる。



「スキーと駅伝のまち」について

問 令和6年度以降の市内学校でのスキー授業の計画は。

答 スキー授業は、スキーに親しむきっかけにつながることから、今後もスキー授業に対する支援を継続したいと考えている。

令和5年度は、暖冬の影響で、1小学校しか実施できなかったが、令和6年度以降は、これまでと同様に、子どもたちがスキーに親しむことができる環境づくりに努めていく。

問 宿泊業、仕出し業以外の業種にどれくらい地域の賑わいの創出が波及されているのか。

答 第97回全日本学生スキー選手権大会の経済波及効果については、約1億1600万円と試算している。選手及び関係者約1600人のほか、大学関係者や保護者などの応援者も多数来場している。

業種別の試算はしていないが、コンビニやスーパーをはじめ、飲食店などの利用もあったものと推察され、冬の期間の賑わい創出に寄与しているものと考えている。



録画配信はこちらから

丸岡 孝文 議員（無会派）

質問時間 30分

質問した項目

■この冬の暖冬による影響について ■スキーの全国規模の大会や各種競技の受け入れと成果について ■「スキーと駅伝のまち」について

問 市長が市民からの公開質問状に対応しなかったのは、どのような考えによるものか。

答 昨年の12月議会でも答弁してきた内容であることや、調査委員会の設置が見込まれていたことを踏まえ、質問状への回答は控えた。



公社問題について

問 道の駅の指定管理について、これまで鹿角市のスタンスとして、基本的に事業者の創意工夫で収益を上げてもらうことを目指し、指定管理料なしとしてきたと理解している。

しかし、令和6年度予算を見ると、道の駅かづのに関しては指定管理料が計上されていないのに対し、道の駅おおゆには1635万円が計上されている。同じ道の駅でも、一方には指定管理料を新

答 道の駅の指定管理料については、令和6年度予算編成における検討の中で、道の駅としての基本的な機能を維持するために必要な経費について積算しており、道の駅おおゆについては、施設の管理運営に必要な経費について、令和6年度からは指定管理料として予算計上しているが、道の駅かづのについては、今後の経営状況などを見極めながら、指定管理料の必要性について総合的に検討していく。

質問した項目

- ライザップとの連携協定について
- 鹿角高校寮費支援について
- 公社問題について
- 人口減少について
- 本市における主権者教育について
- 若者の意見をどう捉えるか
- 行政の役割について



録画配信はこちらから

問 物流の手段として、平時や災害時におけるドローンの活用を検討しているか。

答 物流の実用化については、実証実験の状況を注視していく。災害時は消防本部のほか、企業2社と支援に関する協定を締結している。



建設業の働き方改革について

質問した項目

- 2030年カーボンニュートラル達成について
- 建設業の働き方改革について
- 鹿角高校について
- ドローンの活用について
- 大湯環状列石の保存活用計画について

問 令和6年度から公共工事が週休2日制になることについて、市発注工事への今後の影響は。

答 工事期間の長期化やリース機械等の経費の増加、技術者や資格者の人員の確保など影響は大きい。本市の工事発注においては、最新の単価を用いた設計、週休2日に対応した工事価格や、十分な工事期間を設定し、工事の品質の確保に努めていく。

大湯環状列石の保存活用計画について

問 県道移設ルート案が提示され、2027年度から工事着手の予定だが、移設後の整備事業の概略は示されているものか。

答 史跡内を縦断する道路がなくなることで、ガイダンス施設から徒歩で見学することになるため、新たな見学動線や休憩スペース等の利便施設を設置し、老朽化した復元物の新たな整備の実施の検討を予定している。また、大湯ストーンサークル館については、展示ホールを更新、出土遺物の重要文化財指定に向けた保存施設の設置等を進めていく。



録画配信はこちらから

問 本市の現状に合わせた産科分娩機能における今後の具体的なビジョンは。新たに「こども家庭センター」を設置し、妊娠期から子育て期の家庭に対し、切れ目のない包括的な支援を強化していく。

答 既存の保育園等において、質の高い保育サービスの提供を優先していきたいと考えています。なお、小規模保育事業の受け入れ対象が令和5年度から緩和され、和5年度から緩和され、相談にに応じ適切に対応していきたい。

問 令和6年度以降も大湯地区に保育所を存続して欲しいという声が多くある。小規模認可保育園の規定が拡充する今、大湯地区の未来を守るためにも小規模保育園として運営すべきと思うが、今後の考えは。

答 改修費用が当初の想定より大きく膨らむことと、施設の休業期間も工事に応じ長期間となることから増床計画を凍結したもので、現段階での再開は考えていない。令和6年度は十和田湖観光の進展が期待され、イベント・外販プロデュース・物販などにより外貨獲得・入込客数の増加を目指していく。

問 出産・子育てを支える環境づくりについて

問 凍結していた湯の駅おおゆ飲食スペースの見直し計画を早期に進める必要があると考えるが、市の見解は。



観光資源について

和5年度から緩和され、相談にに応じ適切に対応していきたい。

質問した項目

- 出産・子育てを支える環境づくりについて
- ゼロカーボンシティについて
- 観光資源について

問 本市の現状に合わせた産科分娩機能における今後の具体的なビジョンは。新たに「こども家庭センター」を設置し、妊娠期から子育て期の家庭に対し、切れ目のない包括的な支援を強化していく。



録画配信はこちらから

湯瀬 弘充 議員（鹿真会・公明）
質問時間 30分

委員会審査ズームアップ

〔議案第4号〕 鹿角市過疎地域持続的発展計画の変更について

問 どのような事業を見込んで計画を変更したのか。

答 大湯地区と八幡平地区にある市所有施設に、地上デジタル放送の電波を光回線に変換する受信点があるが、令和6年度は大湯地区の受信点を更新する計画としている。市交流センターについては、外壁の補修や講堂の床の張り替えなど、計画的に修繕を行う予定としていたが、修繕箇所が多くなってきたことから大規模改修を行う計画に変更した。

〔議案第15号〕 鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の一部改正について

問 消防団員の定員を引き下げることにした理由は。

答 国の消防力の整備指針では、団員数は地域の実情に応じて必要な人数とされているが、鹿角市もこの考え方に基づいて見直しを進めている。団員数については、参考値ではあるが、ポンプ車や積載車等の資機材の数に対する必要な団員数に、平成17年当時の指針で定められていた大規模災害時の避難誘導に必要な団員数を加えると約740人となるが、今回改正する定員数は820人であり、必要な定員数は確保されている。

〔議案第17号〕 令和5年度鹿角市一般会計補正予算（第13号）

問 （情報管理費）行政手続等デジタル推進事業について、補正予算の内容と市行政事務のデジタル化の進捗状況はどうなっているか。

答 システム使用料の減額については、文書管理システム・電子決裁システムの運用開始時期に応じた減額である。また、デジタル化の進捗状況については、行政手続きのデジタル化を指標に掲げ、令和7年度までの目標件数を80件としているが、令和4年度の実績で59件の手続きをデジタル化している。

〔議案第22号〕 令和6年度鹿角市一般会計予算

問 (歳入) 自主財源の比率と増減の理由は。

答 令和6年度における自主財源の比率は32.2%となっている。令和5年度当初の30.8%から1.4ポイント増加しているが、財政調整基金、ふるさと鹿角応援基金からの繰入金などの増加が大きな要因となっている。

問 (財産管理費) 公共施設解体基金積立金について、公共施設の解体の見通しは。

答 旧八幡平市民センターや自然休養村管理センターなどの解体を計画しているが、より跡地の利用が期待できる十和田図書館を優先し、令和8年度の解体を目指していく。

〔6陳情第2号〕 公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情

「先進事例を参考としたとき、本市においては条例を制定する必要まではないものとする」との意見が出され、全会一致で「不採択」とすべきものと決定した。

〔議案第22号〕 令和6年度鹿角市一般会計予算

問 (生活安全対策費) 空き家等適正管理推進事業について、危険老朽空き家除去費補助金の利用件数の見通しは。

答 来年度は9軒分の解体に対する補助を見込んでいる。今年度市が実施した危険空き家調査の結果の通知や相談者への制度の周知を行い、危険空き家の解消を図っていく。

問 (空き家等適正管理推進事業) 新年度計上された除雪委託料の内容は。

答 所有者の不明な物件から市道除雪対象路線へ落雪があった場合で、自治会等の協力を得ることが困難なケースにおいて市道の通行に著しく支障をきたしていると認められる場合に限り排雪を行うもの。

問 (地域公共交通維持確保対策事業) 鹿角高校スクール線運行確保補助金は、赤字路線を維持するために十分か。

答 鹿角高校スクール線は鹿角花輪駅と鹿角高校を結ぶ路線であり、補助金は収支不足分の補てんをするためのもの。バス利用者が増加した場合は補助金額も圧縮されていく。

問 (後期高齢者医療費) ポピュレーションアプローチ健康教育委託料の事業内容は。

答 高齢者の健康づくりのため、鹿角市地域生き生きサロンで実施している事業の取り組みを拡大するために外部委託するもの。具体的には75歳以上の高齢者を対象としてフレイルチェックや低栄養予防、口腔ケア等の健康教育を行う。

問 (保健衛生対策費) 医師確保対策事業について、これまでの成果と今後の医師確保の見込みは。

答 医師確保業務委託料については、これまで5件の相談があったが、かつの厚生病院の医師確保につながる成約には至っていない。医師修学資金貸付金の利用者についても定期的にコンタクトをとっており、事業を継続することによって数年の間に成果が表れてくると考えている。

〔5陳情第12号〕 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情

「現在、保険証とマイナンバーカードのどちらも使用できるが、併用ができることによる不正受給が問題となっている。また、マイナンバーカードの活用はDXの推進と市民の健康福祉の増進に資することが期待されることから、不採択とすべき」との意見が出され、全会一致で「不採択」とすべきものと決定した。

〔5陳情第15号〕 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

「本市の状況と異なる地域からの陳情であるが、労働力人材確保のため外国人労働者を受け入れている状況、厚生労働大臣も必要な検討を行うという発言をしていることから趣旨採択とすべき」との意見が出され、全会一致で「趣旨採択」とすべきものと決定した。

[議案第13号] 鹿角市水道事業給水条例の一部改正について

問 条文を追加した理由は何か。

答 長期間閉栓している給水装置を撤去することを念頭に置いており、給水装置撤去後に再開した場合の手続きが明記されていないことから整備することとした。

[議案第16号] 鹿角市上水道事業会計における建設改良積立金の目的外使用について

問 目的外使用をすることとした理由について

答 令和5年度当初予算、新年度予算において収益的収支における収入が不足する赤字予算になっており、積立金を今後2、3年先までの企業債償還金に使用したいため。

[議案第17号] 令和5年度一般会計補正予算(第13号)

問 (災害復旧費) 農業用施設災害復旧費の追加について

答 令和4年8月豪雨災害の被災箇所のうち、入札不調により工事ができなかった7箇所について仮設の用水路や道路などを設置するものである。

[議案第22号] 令和6年度一般会計予算

問 (種苗交換会開催費) 協賛会の構成員並びにその役割と開催に係る事業費について

答 協賛会は市、市議会、J A、警察、商工会等農業分野に偏らず各業種で構成し、市全体で盛り上げていきたい。交換会開催に係る事業費は市から協賛会への負担金、企業からの協賛金や広告料、使用料収入などで総事業費は約8,800万円を見込んでいる。

問 (林業振興費) 緊急ツキノワグマ誘引樹木伐採事業費補助金の詳細と予算不足の際の対応について

答 住宅地に植えられている栗や柿等、熊を誘引する樹木の伐採について1本当たり5万円を上限として補助するもので、1人当たりにおける伐採の本数にも上限は設けないこととしている。また、予算が不足した際には補正予算で対応したい。

問 (企業誘致対策費) サテライトオフィス視察ツアー企画・運營業務委託料の内容について

答 本市へ進出する可能性のある業種をターゲットに市のことを知ってもらう、また市内企業との関係性を構築してもらうことを目的に夏、冬の年2回、1社1名程度とし4社程度から市内の空き公共施設や空き家などを視察していただき誘致に繋げたい。

問 (観光振興費) 自家用有償旅客運送委託料の今後の計画について

答 来年度は現在運行している「八郎太郎号」のうち、志張温泉から八幡平山頂区間において自家用有償旅客運送制度を活用して実証運行を行う。将来的には玉川温泉方面への拡充を検討するとともに、十和田エリアについても小坂町やタクシー事業者と連携しながら利便性の高い交通システムを確立していく。

[6陳情第1号] 「あきたこまち」の、「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情

「願意妥当と認め採択すべき」との意見や、「暖冬の影響により、水不足が懸念され、水稻がカドミウム等を吸収してしまう恐れがある。また、諸外国のカドミウム等基準値に対応するためにも、切り替えを進めるべきと考えることから不採択とすべき」との意見が出され、採決の結果、「不採択」とすべきものと決定した。

[6陳情第3号] 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

「願意妥当と認め採決すべき」との意見が出され、全会一致で「採択」すべきものと決定した。

会議録公開中!!

市議会の本会議で話し合われた内容を、市ホームページからご覧いただけます。

会議録は
こちらから

- ✓ 市ホームページ
- ↓
- ✓ 市政・まちづくり
- ↓
- ✓ 鹿角市議会
- ↓
- ✓ 会議録検索



傍聴のご案内

議場での傍聴は、市議会の活動内容を知るための最も身近な方法です。市議会の本会議は一般の方に公開されており、本会議当日に市役所3階で受け付けをしていただければ、どなたでも傍聴することができます。



傍聴の受付

「かづの観光物産公社に対する鹿角市長の発言についての調査委員会開催に関する請願」を趣旨採択

2月臨時会において、
「かづの観光物産公社に
対する鹿角市長の発言
についての調査委員会
開催に関する請願」を
審査いたしました。

審査を付託された議
会運営委員会では、請
願項目にある事実の確
認については、調査委
員会を設置せずとも既
存の委員会での対応が
可能であるとの意見が
出され、全会一致で「趣
旨採択すべきもの」と
決定し、本会議におい
て審査結果を報告しま
した。

これに対し、「不採
択とすべき」との反対
討論がなされ、起立採
決の結果、賛成多数に
より、「趣旨採択」と
決しました。

今後、議会運営委員
会において、請願事項
の調査を行ってまいり
ます。

反対討論

議会の議決権等が及
ばない第三セクター経
営者と当時者同士の紛
争に関して、白黒つけ
てほしいというものを
要請する民事訴訟に近
い性質のものと捉えて
おり、市議会に求める
のではなく、法的効力
のある裁判所での民事
訴訟や調停を利用する
べきだと考える。また、
議会が調査をした後の
結論に法的拘束力はな
く、その調査の質も担
保することが難しい一
方で、その調査がもた
らす社会的影響等につ
いて、議会と第三セク
ターの関係性において
不適切な介入事例を残
すことにもなりかねな
いと考える。

このことから、前述
の懸念を避ける形で結
論が出されたとしても、
時間をかける割に根本
的な解決にはつながら
ない。

ず、むしろその分断を
助長してしまう可能性
もある。この問題は、
当事者間の議論が深ま
っていないということ
が問題の本質であり、
鹿角市の利益を損ねて
いる部分もそこにある
と考える。

議会として行動する
のであれば、冷静な議
論を両者に促し、スム
ーズなやり取りとなる
よう建設的な行動を取
ることが鹿角市全体の
利益を考える議会の方
向性であることから、
「不採択」とすべきで
ある。

(笹本真司議員)

この問題は、当事者
間で解決できるもので
あると考える。それが
今、どのようなになって
いるのか分からない
状態の中で、議会がそ
れに介入をし調査をす
るとするのは、ふさわ
しくないと判断するこ
とから、趣旨採択には
反対である。

(丸岡孝文議員)

令和6年2月臨時会 議案賛否一覧 (賛否が分かれた議案のみ)

議席番号及び議員名 	
---	--

※「○」＝賛成 「●」＝反対
※ 議長は採決には加わりません。
※ 6請願第1号は、議会運営委員会の審査結果報告(趣旨採択)のとおり決することに賛成する者の起立を求め、採決を行いました。

編集後記

令和6年3月定例会の主
な内容を報告させていただ
きました。

さて、議会広報委員会の
一つの役割でもある「市民
と語る会」は、コロナ禍に
よる長い行動制限も緩和さ
れたことから再開しており
ます。

これまでのように、市民
の皆さまからお集まりいた
だく方法ではなく、皆さま
の元に向く形に改め、気
軽に意見交換ができるよう
に開催方法の見直しを行っ
てまいりました。

まだまだ改善点などがあ
ると思いますが、試行錯誤
しながら、様々な意見を広
くお聴きかせいただく機会
を増やしてまいりたいと思
っております。

(湯瀬誠喜)

議会広報委員会
委員長 金澤大輔
副委員長 湯瀬弘充
委員 湯瀬昌敏
委員 浅石誠喜
委員 湯瀬真司
委員 笹本真司